第15回評議員会・支部長会議

令和5年7月1日(土) 杉乃井ホテル アンバーの間にて開催された 第15回評議員会・支部長会議にて以下の議案が承認されましたのでお 知らせします。

第1号議案 令和4年度事業報告

第2号議案 令和4年度決算(案)及び監査報告

第3号議案 令和5年度事業計画(案)

第4号議案 令和5年度予算(案)

第5号議案 人事案件(評議員・理事の再選・選任)

第6号議案 一般財団法人四極会組織運営規程の一部改定

第7号議案 令和6年度評議員·支部長会議開催地決定

第8号議案 基金創設検討委員会答申(案)

令和4年度事業報告

【1】会議等

- (1) 大学関係
 - ·令和4年4月4日(月) 大分大学入学式
 - ·令和5年3月23日(木) 大分大学卒業式
- (2) 四極会理事会関係
 - · 令和4年5月11日(水) 令和3年度監査実施
 - ・令和4年5月20日(金) 第35回理事会
 - 令和4年6月25日(土) 第36回理事会

同上 第14回評議員・支部長会議

- · 令和 4 年 9 月 2 1 日 (水) 第 3 7 回理事会
- 令和5年3月22日(水) 第38回理事会
- (3) 基金創設検討委員会関係
 - · 令和 4 年 1 1 月 1 0 日 (木) 第 1 回基金創設検討委員会
 - · 令和 4 年 1 2 月 1 3 日 (火) 第 2 回基金創設検討委員会
 - · 令和5年1月24日(火) 第3回基金創設検討委員会
 - · 令和 5 年 2 月 2 2 日 (水) 第 4 回基金創設檢討委員会
 - · 令和 5 年 3 月 2 3 日 (木) 第 5 回基金創設檢討委員会 答申書作成予定

【2】大分大学経済学部との交流

○経済学部教授と四極会役員との意見交換会令和4年11月2日(水)経済学部会議室にて実施

(出席者)

*四極会 三浦会長他11名

*大学側 高見学部長他8名

○学生との意見交換会

令和5年3月16日(木)16:00~ 経済学部会議室にて

- ・四極会・・・三浦会長・大島事務局長・木本監事・渡邊教授・黒木護係長
- ・学 生・・・松坂竜樹委員長・野村梨乃副委員長・益田晃太副委員長 渡邉夕稀副委員長

【3】卒業生会長表彰

- ①税理士試験の財務諸表論を3年生、簿記論を4年生で合格 泉 勇輝
- ②社会イノベーション学科渡邊ゼミの4年生12名が「イノベーションの実践と課題解決」のテーマのもと、外部と連携して複数のプロジェクト活動を行った。 佐保太晟 城みなみ 園川 遙 多口由紀音 長岳真由 中津留杏梨バリクディオンレイス 日野虎太郎 三浦里芳 三重野敏明 森重 希山口裕太

【4】支部総会実施状況

月日	支部名	役員・大学出席状況	支部会員出席状況
4. 6. 16	北九州支部	相良名誉会長・野々下理事・高見学部長	会員26・医学部7・教育2
4. 6. 25	大分支部	荒川常務理事・是永次長・大園主任	会員26
		高橋	
4. 10. 2	関西支部	三浦会長・野々下理事・高見学部長	会員45・ゲスト4
4. 11. 5	東京四極会	三浦会長・野々下理事・高見学部長	会員39・ゲスト1
4. 11. 26	宮崎支部	三浦会長・野々下理事・高見学部長	会員32
4. 12. 2	玖珠支部	三浦会長・大島事務局長・大園主任	会員7
		渡邊教授	
5. 1. 27	日田支部	三浦会長・大島事務局長・大園主任	会員12
		松隈教授	
5. 1. 29	広島支部	三浦会長・野々下理事・大島事務局長	会員14・工学部2・教育1
		高見学部長	
5. 2. 11	沖縄支部	三浦会長・野々下理事・高見学部長	会員8・教育1

【5】支部・職域・企業訪問

月日	支部・職域	訪問役員	面談者
4. 10. 23	大分銀行	三浦会長・大島事務局長	平川支部長・他2名
	豊和銀行	三浦会長・大島事務局長	佐藤支部長・他3名
4. 10. 14	大分合同新聞社	三浦会長・大島事務局長	伊達支部長・他1名
4. 10. 20	臼杵支部	三浦会長・大島事務局長	武口支部長
	大分市役所	三浦会長・大島事務局長	上原支部長
	大分県庁	三浦会長・大島事務局長	大塚支部長・他2名・岡本教育長

4. 10. 27	玖珠支部	三浦会長・大島事務局長	森支部長・他5名
	日田支部	三浦会長・大島事務局長	佐藤支部長・他7名
	中津豊前支部	三浦会長・大島事務局長	窪田支部長・他1名
	宇佐高田支部	三浦会長・大島事務局長	廣﨑支部長・他1名
4. 10. 28	ジェイリース	三浦会長・大島事務局長	
	別府支部	三浦会長・大島事務局長	宮川支部長・他3名
	平倉建設	三浦会長・大島事務局長	橋本啓取締役
4. 11. 4	津久見支部	三浦会長・大島事務局長	小野﨑支部長・他2名
	佐伯支部	三浦会長・大島事務局長	西谷支部長・他1名
	竹田市役所	三浦会長・大島事務局長	土居昌弘市長・藤田和徳副市長・他1名
4. 11. 10	大分県信用組合	三浦会長・大島事務局長	吉野一彦理事長
	トキハ	三浦会長・大島事務局長	藤野嗣久総務部長
4. 11. 11	大分みらい信金	三浦会長・大島事務局長	古田啓一常務理事・岩尾利弘常務理事
4. 11. 14	大分バス	三浦会長・大島事務局長	高寄和弘社長・福田吉和管理部長
	大分交通	三浦会長・大島事務局長	安部喜代治社長・白川憲一副社長
4. 11. 18	第一交通産業	三浦会長・大島事務局長	黒土始顧問・田中靖常務
	北九州支部	三浦会長・大島事務局長	久保支部長
	福岡支部	三浦会長・大島事務局長	待井支部長・他2名
4. 11. 19	速杵国東支部	三浦会長・大島事務局長	吉良支部長・他6名
月日	支部・職域	訪問役員	面談者
4. 11. 22	大分信用金庫	三浦会長・大島事務局長	木村浩樹理事長
	オーイーシー	三浦会長・大島事務局長	津行孝充理事
4. 11. 24	TOS	三浦会長・大島事務局長	池邉強社長・工藤晴久社長
4. 12. 13	大分トヨタ	三浦会長・大島事務局長	岩尾泰彦副社長・三宮邦雄社長
4. 12. 16	大分大学支部	三浦会長・大島事務局長	渡邊支部長・他2名
	松山支部	三浦会長・大島事務局長	二宮支部長・他1名

【6】大分大学経済学部100周年記念事業関係

(1) 100周年記念事業

- ・令和4年4月20日 100周年記念碑オープンセレモニー
- ・令和4年5月26日 経済トップセミナー 青柳俊彦氏(JR九州代表取締役会長) (参考・前年度経済トップセミナー)

令和3年9月22日 広瀬勝貞氏(大分県知事)

令和3年10月21日 白川方明氏(前日本銀行総裁)

令和3年11月18日 野瀬裕之氏(サッポロビール代表取締役社長)

令和3年12月9日 池辺和弘氏(九州電力代表取締役社長)

· 令和4年6月22日~26日 芸術文化祭 「自遊展」

・令和4年6月25日 100周年記念式典(iichiko総合文化センター)

記念講演会 安部龍太郎氏

母校訪問ツアー

・令和4年6月26日 ゴルフ大会(大分竹中カントリークラブ)

臼杵石仏ツアー

・令和4年11月 寄付者全員に「会報四極124号」を配布

・令和5年1月~2月 寄付者全員に「100周年記念DVD」を配布

・令和5年3月 「100周年記念誌」発行

申込希望者 281名(令和5年3月6日現在)

(2) 100周年記念事業における募金の状況(令和5年3月31日現在)

四極会 72,875、103円 大 学 78,770,660円 計 151,645、763円

- (3) 委員会スケジュール
 - ①小委員会開催

· 令和 5 年 3 月 1 7 日 広報小委員会(委員長 帆足三郎)

·令和5年3月20日 募金推進小委員会(委員長 玉井鉄之)

・令和5年5月29日 記念式典小委員会(委員長 石井まこと)

· 令和 5 年 5 月 2 9 日 記念事業小委員会(委員長 高見博之)

- ②100周年記念事業実行委員会
 - •令和5年5月30日 委員長 野々下俊昭
- 【7】大学卒業·大学院修了会員

令和5年3月卒業学部生(大71回生)271名大学院(修士)4名(博士)1名

【8】役員等による活動

ジェイリース副社長衞藤秀樹氏及び平倉建設相談役橋本啓氏両名による大分市内の職域企業訪問を行う。職域会員の増強活動を開始する。

· 令和 5 年 1 月 2 6 日 (木)

大分交通(安部社長)、OBS(三浦取締役)、オーイーシー(津行理事) 大分県信用組合(児玉総務部長) と面談

令和4年度決算

1、令和4年度一般会計収支決算

(単位:円)

	科 目	当初予算	決算額	差引過不足	備 考
	1) 四極会入会金	5, 600, 000	5, 400, 000	-200, 000	270×20,000
	2) 四極会会費収入	4, 000, 000	3, 675, 000	-325, 000	(未入金支部5/114,000)
	3) 負担金収入	0	0	0	
収	4) 受 入 利 息	50	25	-25	
入	5) 寄 附 金	0	0	0	
0	6) 雑 収 入	100, 000	76, 000	-24, 000	個人会員会報発送手数料@1,000×76
	7) 広 告 収 入	100,000	100, 000	0	第一交通産業 (123号50,000、124号50,000)
部	8) 補助金・助成金	0	0	0	
	9) 運営資金繰入	2, 200, 000	2,000,000	-200, 000	
	10) 前年度繰越金	111, 431	111, 431	0	
	収 入 計	12, 111, 481	11, 362, 456	-749, 025	
	1) 広 報 費	1, 045, 000	1, 002, 508	-42, 492	会報123号・124号 新春広告料 他
	2) 会 議 費	680, 000	593, 814	-86, 186	理事会費、評議員・支部長会議、 会計監査他
	3) 慶 弔 費	850, 000	373, 332	-476, 668	総会祝儀8件、八鹿151本、電報、 誕生祝手土産他
	4) 人 件 費	6, 000, 000	6, 186, 465	186, 465	給与・賞与、退職金、社保等負担金 他
	5) 旅 費	1, 200, 000	704, 393	-495, 607	支部総会8先、評議員・支部長会議、 支部訪問他
支	6) 交 通 費	500, 000	330, 630	-169, 370	定期券・交通費、タクシー 他
出	7) 通 信 費	450,000	490, 904	44, 934	後納郵便、電話料、切手代 他
0	8) 印刷消耗費	450, 000	504, 695	54, 695	コピーリース料・追加料、コピー用紙 挨拶状 他
部	9) 事 務 所 費	730, 000	718, 424	-11, 576	管理費・上下水道代、固定資産税、 電気代 他
	10) 支払手数料	50,000	41, 866	-8, 134	貸金庫手数料、振込手数料、 JCB年会費 他
	11) 備 品 費	40, 000	179, 652	139, 652	Zoom周辺機器購入、電話機 洗面所自動水栓設置
	12) 雑 費	50,000	187, 080	137, 080	代替PCデータ移動、 ウオーターサーバー 他
	13) 予 備 費	0	0	0	
	支 出 計	12, 045, 000	11, 313, 763	-731, 237	
Ì	火期 繰越金	66, 481	48, 693		

2、令和4年度 運営資金会計決算

	科 目	令和4年度予算	令和4年度決算	差引過不足	備考
	前年度繰越金	27, 987, 083	27, 987, 083	0	
収	雑収入				
入の	利子収入	2,000	418	-1, 582	
部					
	収入計	27, 989, 083	27, 987, 501	-1, 582	
	事務費	1,000	660	-340	
	一般会計繰出	2, 200, 000	2,000,000	-200, 000	
支	名簿特別会計繰出	96, 000	157, 117	61, 117	保管管理費、名簿発行 費、名簿発送費 他
出の	雑損失				
部					
	支 出 計	2, 297, 000	2, 157, 777	-139, 223	
	翌年度繰越金	25, 692, 083	25, 829, 724	137, 641	_

3、令和4年度 母校充実基金会計決算

	科目	令和4年度予算	令和4年度決算	差引過不足	備考
	前年度繰越金	28, 306, 136	28, 306, 136	0	
収	寄付金				
人の	利子収入	2,000	454	-1, 546	
部	雑収入				
	収入計	28, 308, 136	28, 306, 590	-1, 546	
	学部補助	600, 000	95, 800	-504, 200	四極会会長賞副賞名刺入 れ 他
	寄付講義「会社研究」補助	750, 000	750, 000	0	
	外国人留学生友の会会費	100, 000	100, 000	0	
支出	経済学部との交流会費	900, 000	53, 770	-846, 230	意見交換会弁当 他
の 部	大分大学同窓会連合会負担金	163, 000	163, 000	0	
Hh	事務費	3, 000	22, 818	19, 818	寄附講義交通費・弁当 振込手数料他
	雑損失				
	支 出 計	2, 516, 000	1, 185, 388	-1, 330, 612	
	翌年度繰越金	25, 792, 136	27, 121, 202	1, 329, 066	

4、令和4年度 名簿特別会計決算

	科目	令和4年度予算	令和4年度決算	差引過不足	備考
	広告収入				
収	名簿売上収入				
人の	運営資金繰入	96, 000	157, 117	61, 117	
部	前年度繰越金				
	収入計	96, 000	157, 117	61, 117	
	名簿発行費	66, 000	66, 000	0	卒業生名簿発行
支	通信費	30, 000	35, 897	5, 897	名簿発送料(卒業生・各 支部)
出の	保守管理費		55, 000	55, 000	旭出版名簿更新
部	事務費		220	220	
	支 出 計	96, 000	157, 117	61, 117	
	翌年度繰越金	0	0	0	

5、令和4年度 母校創立100周年記念事業予算執行報告書

(単位;円)

	科目	令和3年度累計	令和4年度実績	令和4年度累計	備考	(大学執行分)
		77和3 中及糸司		7 和 4 牛皮糸司	洲石	(八子教们刀)
		70.050.100	42, 433, 811	FO OFF 100	0.0 #	50 550 660
	2) 寄 付 金	70, 859, 103	2, 016, 000	72, 875, 103	36名	78, 770, 660
ılπ	3) 後援会費等	225		0.5		16, 134, 586
収	4) 懇親会負担金収入	305, 000		305, 000		
入	5) バスツアー収入					
の	6) 預 金 利 息	596	311	907		
0)	7) 自遊展助成金					
部	8) DVD販売代金		6, 000		500×3名/12枚	
	9) 記念誌販売代金		917, 000	917, 000	306名 (1名2,000円で則	反売)
	10) 大分市補助金		300, 000	300, 000	文化芸術推進補助	
	収 入 計	71, 164, 699	45, 673, 122	74, 404, 010		94, 905, 246
	○記念事業					
	1) 記念式典		121, 100	121, 100	感謝状記念品他	3, 562, 708
	2) 記念講演					777, 330
	3) 祝 賀 会					
	4) 前 夜 祭		17, 220	17, 220	準備リハ室料他	
	5) 黒土記念講堂整備					49, 548, 808
	6) 記念公園整備					7, 490, 780
	7) 記念碑建立	2, 673, 000		2, 673, 000		2, 390, 895
	8) 門柱レプリカ建立	2, 800, 000		2,800,000		300,000
	9) アーカイブルーム整備	-				2, 204, 200
	10) 1 0 0 周年懸垂幕					429, 360
	11) 広報用クリアファイル					726, 000
	12) 記 念 品					3, 055, 096
	13) 新聞広告料	3, 240, 000		3, 240, 000		1, 700, 000
支	14) 自遊展(H30~R04)	582, 253	1, 217, 992		会場利用料他	1, 100, 000
出	15) なるコン	180, 000	1, 211, 002	180, 000	†	
Щ	16) H P 作成・更新	2, 895, 860	256, 300	3, 152, 160		1, 540, 000
\mathcal{O}	17)記念ツアー・ゴルフ	2, 000, 000	305, 932		バスツアー・ゴルフ	1, 010, 000
	18)経済トップセミナ―		300, 332	300, 332	,,,,,,	4, 097, 763
部	19) 映像制作					2, 000, 000
	20) DVD制作	412 160	9 576 000	9 000 160	2000年年111年	
		413, 160	2, 576, 000	2, 989, 160		2, 000, 000
	21) 100周年記念誌	10 704 079	899, 450		600冊制作	900, 000
	小計	12, 784, 273	5, 393, 994	18, 178, 267		82, 722, 940
	○諸費用	F.C.F. 0.F.1	0.750	F.C.T. 0.0.T.	トンサイト	
	1) 会 議 費	565, 051	2, 756	567, 807		
	2) 旅 費	1, 728, 079	201, 313		委員長支部総会出席	n 小 妻
	3) 印 刷 費	3, 640, 788	728, 625		会報増刷・記念事業幸	设 古書
	4) 通 信 費	5, 308, 619	563, 943		DVD発送費他	
	5) 支払手数料	477, 225	109, 278		振込手数料他	
	6) 人 件 費	3, 673, 640	1, 442, 580		柴田・高橋・阿部	3, 458, 000
	7) 雑 費	553, 213	32, 091	•	データ使用料他	1, 000, 000
	小 計	15, 946, 615	3, 080, 586	19, 027, 201		4, 458, 000
	支 出 計	28, 730, 888	8, 474, 580	37, 205, 468		87, 180, 940
	執行済額					
	次年度繰越	42, 433, 811	37, 198, 542	37, 198, 542		
	執行残額					7, 724, 306

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日

	科 目	令和4年3月31日現在	令和5年3月31日現在	増減
Ι	資産の部			
	1 流動資産			
	小口現金	61,507	9,679	-51,828
	郵便為替	4,830,699	900,001	-3,930,698
	郵便貯金	0	0	0
	普通預金	45,934,014	42,276,139	-3,657,875
	仮払金	0	0	0
	流動資産合計	50,826,220	43,185,819	-7,640,401
	2 固定資産			
	(1)基本財産			
	定期預金	3,000,000	3,000,000	0
	(2)その他の固定資産 定期預金	45,012,240	44,012,342	-999,898
	国債	0	0	0
	県債	0	0	0
	土地建物	28,500,000	28,500,000	0
	什器備品	2,230,634	2,410,286	179,652
				0
	固定資産合計	78,742,874	77,922,628	-820,246
	資産合計	129,569,094	121,108,447	-8,460,647
Π	負債の部			
	1 流動負債			
	未払金	0	0	0
	未払租税公課	0	0	0
	仮受金	0	0	0
	前受金	0	0	0
	預り金	0	0	0
	負債合計	0	0	0
Ш	正味財産の部			
	正味財産	129,569,094	121,108,447	-8,460,647
	負債及び正味財産合計	129,569,094	121,108,447	-8,460,647

(1) 現金及び預金等 (単位:円)

	預 け 先	現 金	定期預金	普通預金	郵便為替	有価証券	計
	現 金	9, 679	0	0	0	0	9, 679
anu A st. St. Ank ale trui A st.	大 分 銀 行	0	0	5, 865	0	0	5, 865
一般会計・名簿特別会計	ゆうちょ銀行	0	0	2, 301	30, 848	0	33, 149
	合 計	9, 679	0	8, 166	30, 848	0	48, 693
	大 分 銀 行	0	9, 000, 713	3, 030, 025	0	0	12, 030, 738
運営資金会計	豊 和 銀 行	0	13, 000, 000	798, 986	0	0	13, 798, 986
	合 計	0	22, 000, 713	3, 829, 011	0	0	25, 829, 724
	大 分 銀 行	0	15, 011, 629	846, 989	0	0	15, 858, 618
	豊 和 銀 行	0	10, 000, 000	971, 679	0	0	10, 971, 679
母校 充 実 基 金 会 計	大分みらい信用金庫	0	0	290, 905	0	0	290, 905
	合 計	0	25, 011, 629	2, 109, 573	0	0	27, 121, 202
	大 分 銀 行	0	0	36, 329, 389	0	0	36, 329, 389
	豊 和 銀 行	0	0	0	0	0	(
100周年記念事業特別会計	大分みらい信用金庫	0	0	0	0	0	C
	大分信用金庫	0	0	0	0	0	C
	大分県信用組合	0	0	0	0	0	C
	郵 便 振 替	0	0	0	869, 153	0	869, 153
	合 計	0	0	36, 329, 389	869, 153	0	37, 198, 542
* 総 合	計	9, 679	47, 012, 342	42, 276, 139	900, 001	0	90, 198, 161

(2) 建物

物	件	名	所在地・名称		馩	取得価格	取得年月日
*	務	所	大分市金池町2丁目7-21 パークサイド	76.21 m²		21㎡ 28,500,000円	亚成 12 8 24
*	127	121	大分駅まえ 302号		21111	20, 000, 000,1	12.0.24

(3) 備 品

備品名	数量	取得価格(円)	取得年月日	備考
掃除機	1		平成11年3月	
 ブラインド	1		平成12年9月	
 会 議 用テーブル	1	355, 000	II .	
〃 椅子	10	270,000	II .	
協 机	1	18, 625	II .	
ロッカー(3人用)	1	21, 250	11	
小	1	96, 250	"	
空調設備	1	667, 800	II .	
オープンラック	1	26,000	II .	
整理棚	1	36, 750	平成17年8月	
ASUSノートパソコン	1	100,000	平成28年5月	
ノートパソコンHP	1	80,000	平成30年12月	
デジタルカメラ	1	35,000	平成18年10月	
テレビ	1	39, 999	平成29年11月	
ASUSノートパソコン	1	88, 000	平成25年8月	
エプソンプリンター	1	54, 000	平成29年6月	
₿L	1	20,000	令和3年3月	
ウォシュレット	1	23, 000	令和3年3月	
小型冷蔵庫	1	45, 390	令和3年9月	
シュレッダー	1	20, 680	令和3年10月	
電話機	1	23, 985	令和4年6月	
Z00M周辺機器	3	90, 667	令和5年1月	
洗面所自動水栓	1	65,000	令和5年3月	
合 計		2, 410, 286		

監查報告書

一般財団法人四極会

会長 三浦 洋一 様

令和4年度の一般会計、名簿会計、運営資金会計、母校充実基金会計 及び100周年記念事業特別会計の各会計決算について、令和5年4月 24日(月)四極会事務局において、通帳、証書、帳簿、伝票等監査の 結果、会計は適正に処理されていることを認めます。

一般財団法人四極会

監事 佐々木 信之



監事 木本 英光

令和5年度事業計画(案)

「四極会組織の活性化」を旗印に、基金創設検討委員会の答申や支部役員との意見交換をふまえて、下記に記載の令和5年度の「重点施策」に取組む

1、100周年記念基金検討委員会の答申(案)の実施

(資料1:チャート図参照)

(1) 現役学生に対する具体的施策の実施

四極会組織の活性化を図るためには、若年層の会員を四極会活動にいかに取り込むかが大命題である。 その為に現役学生の時から「四極会の存在の意識づけ」を行うため、次に掲げる具体策を行っていく

- ①新入生や卒業生向けに<u>「四極会とは」(資料 2)や「支部連絡先</u> 一覧表」(資料 3)の配布
- ②「四極会」が行っている経済学部<u>「支援事業」の周知</u>・ビジュアルなリーフレットの作成と配付(資料4)
- ③新入生のメールアドレス取得の開始
 - ・四極会入会申込書に<u>記入欄を設定</u>(資料5)
- ④定期的な現役学生との意見交換会の開催
 - ・四極会役員や事務局との意見交換会の開催
 - ・若手会員(社会人)との交流会の開催(要:学部との交渉)
- ⑤学生への資金的支援 (要:学部との交渉)
 - ・学生におけるビジネス・コンテストへのチャレンジやスタート アップ活動等への助成

- ・学生における社会貢献活動への助成(申請書の提出) (例)大分の歌音楽祭、府内パッチン、ボランティア活動 等 ⑥現役学生における就職活動の支援
 - ・インターンシップ等就職活動の情報提供・橋渡し
 - ・四極会会員による就職支援センター制度の検討
- ⑦現役学生全員に経済学部創立100周年記念DVDを配布
- (2) 大学への具体的支援施策の実施(要:学部との交渉)
 - ①寄附講義の継続と充実
 - ・寄附講義の在り方の意見交換会の開催
 - 若手会員の講師派遣
 - ・選定講師へ講義内容「四極会の魅力」の織り込み依頼
- (3) 支部の活性化への具体的支援策の実施

食事会だけの支部総会から脱却し、支部の創意と工夫により、 「実りある」また「記憶に残る」、「次回も参加したい」支部総 会を目指す

- ①支部総会における本部役員と学部教員の出席(必須)
 - ・学部教員によるミニ講義 (テーマ等の依頼可)
- ②支部相互の交流も兼ねた講演会等の開催
 - ・他の支部会員への講師依頼(本部による費用助成)
- ③近隣支部との合同行事の検討
- ④県外支部等の三経戦の開催(本部からの助成の検討)
- ⑤ <u>県外支部と本部のオンライン(Zoom)を利用した会議の随時</u> 開催
 - ・オンライン環境を取り扱える「支部通信員」の設置

- ⑥支部総会(大分支部は「桃優会」の開催支援がある為、対象外と する)における積極的な女性会員の参加を促し、以降の参加定着 を図る為、その参加状況に対する本部からの助成の検討
 - ・支部総会の女性参加者数×一定額/女性1人当たりの助成金
- ⑦支部総会(東京・関西・福岡支部限定)での新卒会員(卒業年次 から5年以内)で、初参加の参加費助成を検討
 - ・新卒会員参加者数(⑥の対象者を除く)×一定額/新卒会員1人当りの助成金
- ⑧不活動支部の存続の検討と支部長不在支部の再興
 - ・本部事務局での調査と対策の検討
- 2、コア会員数の実態把握と本部への支部年会費納入ルールの見直し
 - (1) コア会員数の実態把握
 - ①各支部のコア会員数の把握と本部での把握数との突合作業の実施
 - ②支部コア会員のメールアドレスの取得運動の展開
 - (2) 本部への支部年会費ルールの見直し
 - ①年会費の徴求方法の統一化
 - ・ <u>年2回の会報発送時に年会費の振込用紙を同封し、支部口座への振込方式に統一を検討</u>(コア会員数把握による支部での年会費増強策の一環)
 - ②上記(1)①および(2)①の実施による各支部の<u>本部への会費</u> 納付額の実態把握を行い、ルールの見直しを実施
- 3、 I Tの活用と情報化の推進
 - (1) 取得したメールアドレスの管理と活用方法の検討
 - ①発信情報の充実
 - ②四極会への関心度の向上

- (2) HPの充実
 - ①双方向参加型の「会員の広場(仮称)」の設置
 - ②その他HPの改修
- 4、四極会発足100周年(令和7年)記念行事実施の検討開始
 - ①実行委員会の設置
 - ②経済学部創立100周年で中止になった懇親会や音楽祭の開催 (四極会会員のみの限定開催を予定)
 - ③開催費用は100周年基金より拠出
- 5、会報の発行
 - ①会報「四極」 年2回 発行
 - · 1 2 5 号 令和 5 年 4 月
 - · 1 2 6 号 令和 5 年 1 0 月
- 6、経済学部との連携、交流の推進
 - (1) 経済学部教授との意見交換会の開催
 - ・年2回の開催 8~9月に1回 1~2月に1回
 - (2) 大分大学と同窓会連合会交流会の参加
 - ①ホームカミングデーへの参加
 - ②大分大学との交流会への参加
- 7、その他
 - (1) 卒業生への四極会会長表彰の継続

- (2) 四極会寄附講義「会社研究」
 - ①令和5年4月~7月、毎週水曜日、15回の開催
 - ②「外国人留学生友の会」への参加
- (3) 本部理事による担当支部の訪問強化(資料6)
- (4) 大分支部職域会員増強策の継続
 - ・担当理事等による職域訪問により職域会員の増強を図る

以上

令和5年度予算

1、令和5年度一般会計予算

	科 目	令和4年度予算	令和4年度実績	令和5年度予算案	算 出 根 拠
	四極会入会金	5, 600, 000	5, 400, 000	5, 400, 000	20,000×270人=5,400,000
	四極会会費収入	4, 000, 000	3, 675, 000	3, 800, 000	前年入金実績+昨年未入支部6/129,000
	負担金収入	0	0	616, 000	評議員懇親会100人
	受入利息	50	25	25	
収	寄附金	0	0	0	
入の	雑収入	100, 000	76, 000	100, 000	個人会員への会報四極発送手数料@1,000×100人=100,000
部	広告収入	100, 000	100, 000	100, 000	会報掲載(第一交通産業)@50,000×2回
	補助金・助成金	0	0	300, 000	高齢者雇用助成金
	運営資金繰入	2, 200, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	
	前年度繰越金	111, 431	111, 431	373, 233	
	収入計	12, 111, 481	11, 362, 456	12, 689, 258	
	広報費	1, 045, 000	1, 002, 508	1, 150, 000	会報@120×4000部×2=960,000 合同記事使用15,000
					新春広告22,000 黒土始追悼号100,000 その他55,000
	会議費	680, 000	593, 814	472, 000	理事会40,000×2 評議員・支部長会議292,000
					支部との懇談50,000 その他50,000
	慶弔費	850, 000	373, 332	840, 000	支部総会30/600,000 八鹿189,000 その他50,000
	人件費	6, 000, 000	6, 186, 465	6, 060, 000	給与・賞与5,460,000 社保等負担600,000
	旅費	1, 200, 000	704, 393	1,711,000	評議員・支部長会議471,000 支部総会1,200,000
					その他40,000
支	交通費	500, 000	330, 630	320, 000	定期券2/220,000 タクシー代他100,000
出の	通信費	450, 000	490, 904	510, 000	会報発送300,000 TEL110,000 切手70,000 他30,000
部	印刷消耗費	450, 000	504, 695	500, 000	コピーリース323,400 コピー用紙30,000 インク50,000
					年賀状印刷13,000 ラベル用23,000 その他50,000
	事務所費	730, 000	718, 424	710, 000	管理費212,400 上下水道37,600 法人市県民税他71,000
					新聞代42,000 固定資産税115,200 電気代他240,000
	支払手数料	50, 000	41, 866	40, 000	貸金庫手数料13,200 振込手数料他23,000 JCB4,125
	備品費	40, 000	179, 652	40, 000	電灯料他40,000
	雑費	50, 000	187, 080	100, 000	水サーバー30,000 登記費用25,000 飲み物他45,000
	予備費	0	0	0	
	支出計	12, 045, 000	11, 313, 763	12, 453, 000	
	次期繰越金	66, 481	48, 693	236, 258	

2、令和5年度 運営資金会計予算

	科目	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算	備考
	前年度繰越金	27, 987, 083	27, 987, 083	25, 829, 724	
収	雑収入				
入の	利子収入	2, 000	418	400	
部					
	収 入 計	27, 989, 083	27, 987, 501	25, 830, 124	
	事務費	1,000	660	1,000	
	一般会計繰出	2, 200, 000	2,000,000	2,000,000	
支	名簿特別会計繰出	96, 000	157, 117	157, 000	
出の	雑損失				
部					
	支 出 計	2, 297, 000	2, 157, 777	2, 158, 000	
	翌年度繰越金	25, 692, 083	25, 829, 724	23, 672, 124	

3、令和5年度 名簿特別会計予算

	科目	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算	備考
収入の	広告収入				
	名簿売上収入				
	運営資金繰入	96, 000	157, 117	157, 000	
部	前年度繰越金				
	収入計	96, 000	157, 117	157, 000	
支出の部	名簿発行費	66, 000	66, 000	66, 000	卒業生名簿発行
	通信費	30, 000	35, 897	35, 000	名簿発送料 (卒業生・各 支部)
	保守管理費		55, 000	55, 000	旭出版名簿更新
	事務費		220	1,000	
	支 出 計	96, 000	157, 117	157, 000	
	翌年度繰越金	0	0	0	

4、令和5年度四極会活性化基金予算

	科目	母校充実基金 令和4年度予算	母校充実基金 令和4年度決算	令和5年度予算	備考
収入の部	◎前年度繰越金	28, 306, 136	28, 306, 136	0	
	四極会活性化基金(仮称)			64, 319, 744	100周年記念事業37, 198, 542 母校充実基金会計27, 121, 202
	預金利息	2, 000	454	760	
	収入計	28, 308, 136	28, 306, 590	64, 320, 504	
	学部補助	600, 000	95, 800	150, 000	四極会会長賞
	寄付講義「会社研究」補助	750, 000	750, 000	750, 000	
	外国人留学生友の会会費	100, 000	100, 000	100, 000	
	大分大学同窓会連合会負担金	163, 000	163, 000	156, 000	
	スタートアップ活動助成			200, 000	年間2件×100,000
	社会貢献活動助成			200, 000	年間2件×100,000
	他の支部会員への講師依頼			100, 000	年間10件×10,000
	インターンシップ助成			200, 000	年間10人×20,000
	ホームページの充実			600, 000	HPの更新 アプリの新設等
支出	支部総会への女性会員参加助成			150, 000	年間累計50人×3,000
の部	経済学部教授との意見交換会	900, 000	53, 770	45, 000	弁当1,500×15人×2回
	学生と四極会との意見交換会			10, 000	年間累計10名×1,000
	旅費			500, 000	支部活動が低調な支部への支援訪問
	交通費			200, 000	ガソリン代・他
	通信費			200, 000	支部からの文書発送一部補助
	印刷費			100, 000	インク代他
	人件費			300, 000	HP作成補助等
	支払手数料			50, 000	振込手数料他
	雑費	3, 000	22, 818	100, 000	事務用品他
	支出計	2, 516, 000	1, 185, 388	4, 111, 000	
	次年度繰越	25, 792, 136	27, 121, 202	60, 209, 504	

第5号議案

人事案件(評議員・理事の再選・選任)

1、評議員の選任

評議員25名のうち下記3名は支部長交代により新支部長として新 たに評議員に任命する。

・沖縄支部 新支部長 仲座亮多(大55)任期7.7(旧:牧野浩隆)
・大分銀行 新支部長 平川浩行(大34)任期7.7(旧:甲斐一義)
・大分県庁 新支部長 佐藤 章(大35)任期7.7(旧:大塚 浩)
・大分市役所 新支部長 中園美佐(大35)任期7.7(旧:上原徹夫)

2、理事の再選・選任

理事14名は全員が任期満了になり、大石哲史氏は退任し、新たに 新支部長和田安生氏を理事に選任する。又、事務局長大島英明は前任 者荒川孝二氏の後任として理事に選任する。

- ・関西支部 新支部長 和田安生(大24)任期7.7(旧:大石哲史)
- ・四極会事務局長 大島英明(大24)任期7.7(旧:荒川孝二) 尚、他の理事13名については全員再任する。

第6号議案

一般財団法人四極会組織運営規程の一部改正

変更前	変更後	摘要
(会員の資格)	(会員の資格)	
第5条 本会に次に掲げる会員を置く	第5条 本会に次に掲げる会員を置く	
(1) 正会員 大分高等商業学校、大分経済専門	(1) 正会員 大分高等商業学校、大分経済専門	
学校及び大分大学経済学部を卒業した者並び	学校及び大分大学経済学部を卒業した者並び	
に大分大学経済学部専攻科及び大分大学大学	に大分大学経済学部専攻科及び大分大学大学	
院経済学研究科を修了した者	院経済学研究科を修了した者。 <u>なお、大分大</u>	追加
	学経済学部及び大分大学大学院経済学研究科	
	<u>の学生についても会員とする。</u>	
(入会金及び年会費)	(入会金及び年会費)	
第7条 会員は、入会金として金20,000円を納入	第7条 会員は,入会金として <u>入学時に</u> 金20,000円	追加
し、年会費として,年度ごとに金2,000円を納	を納入し,年会費として,年度ごとに金2,000円	
入しなければならない。	を納入しなければならない。 <u>但し,現役学生に</u>	追加
	ついては,年会費は卒業後より納入するものと	
	<u>する。</u>	

第7号議案

・令和6年度の評議員・支部長会議の開催地の決定

令和6年7月6日(土) 長崎支部

(参考)

年度((回)	開催日	開催ホテル	開催支部
19年度		19.7.7 (土)	大阪弥生会館	関西
20年度		20.7.4 (土)	大分全日空ホテル	大分
設立総会		20.11.22 (土)	ホテルキャッスル大分	大分
2 1 年度 ((第1回)	21.7.4 (土)	虎ノ門パストラル新館	東京
2 2 年度 ((第2回)	22.7.10 (土)	大分全日空ホテル	大分
23年度((第3回)	23.7.2 (土)	熊本交通センターホテル	熊本
2 4 年度 ((第4回)	24.6.30 (土)	大分オアシスタワー	大分
25年度((第5回)	25.7.6 (土)	リーガロイヤルホテル広島	広島
26年度((第6回)	26.7.12 (土)	レンブラントホテル大分	大分
27年度((第7回)	27.7.11 (土)	アイリス愛知	名古屋
28年度〈	〈第8回)	28.7.2 (土)	レンブラントホテル大分	大分
29年度((第9回)	29.7.1 (土)	ステーションホテル小倉	北九州
30年度((第10回)	30.7.7 (土)	レンブラントホテル大分	大分
元年度((第11回)	1.7.6 (土)	福岡サンパレスホテル	福岡
2年度 ((第12回)	2.7.4 (土)	レンブラントホテル大分	大分
3年度 ((第13回)	3.7.3 (土)	大分才アシスホテル	中止
4年度 ((第14回)	4.6.25 (土)	大分オアシスホテル	大分
5年度 ((第15回)	5.7.1 (土)	杉乃井ホテル	大分

第8号議案 「基金創設の検討委員会」の答申 (案)

令和5年5月17日(水)

「基金創設の検討委員会」では、①四極会の存在感をどれくらいの人が受け止めているのか、②その存在感はどのようなものなのか、という問題意識を持って、「四極会の組織を活性化する」ためにどうしたらいいか、そのために創設する基金をどのように活用していくかということを議論した。

こうした問題意識を持って議論する中で出来上がったのが、別添の「四極会の活性化に向けたチャート図」である。

当委員会としては、この図の「基金や年会費の有効的な使用」の部分のうち基金の有効的な活用について具体的に検討して提案するものである。その他の取組については、答申後の当委員会をベースにして、取組毎に対応できる会員を加えて「四極会活性化推進実行委員会(仮称)」(以下「実行委員会」という。)として具体的な取組を検討して実行するよう提案する。

議論の中で特に認識されたのは、若い世代の四極会への求心力をいかに作り出すか、どうやったら四極会の存在感を持たせることができるのかであり、現役学生を含めて若い世代向けの取組が特に重要になるということであった。

この観点から、基金の活用としては、「学生のために活用する」ことを第一に取り組むとともに、「支部の活性化や会員のために活用する」及び「大学のために活用する」ことを取り組むよう提案する。

なお、「基金創設の検討委員会」の構成メンバー及び検討会議の開催は次の通りである。

<基金創設の検討委員会の構成メンバー>

委員長 玉 井 鉄 之 (大 2 5 回生、四極会理事)

副委員長 木本英光(大25回生、四極会監事)

委員 奥川隆生(大23回生、東京四極会理事長)

委員 待 井 弘 道(大27回生、福岡支部支部長)

委員 渡邊博子(大36回生、大分大学支部支部長)

委員 山田昌弘(大43回生、大分支部副支部長)

委員 宮川喜久生(大26回生、別府支部支部長)

委員 平川浩行(大34回生、大分銀行支部支部長)

事務局 大島英明(大24回生、四極会本部事務局長)

事務局 柴 田 宏 二 (大17回生、四極会本部会長特別補佐)

<実施した会議>

第1回 令和4年11月10日(木)17:30~四極会事務局・ZOOM 第2回 令和4年12月13日(火)17:30~四極会事務局・ZOOM 第3回 令和5年 1月24日(火)17:30~四極会事務局・ZOOM 第4回 令和5年 2月22日(木)17:30~四極会事務局・ZOOM

第5回 令和5年 3月23日(木)17:30~四極会事務局・ZOOM

小会議(玉井、木本、平川、山田、大島の5者による会議) 令和5年1月19日(木)、2月9日(木)、3月10日(金)

【具体的な基金活用内容】

- 1 学生のために活用するもの
- (1) 就職支援事業の充実

以下の取組内容を実施するにあたっては、大学の就職関係部署との協議を前 提とする。

① インターンシップに係る情報提供、橋渡し(東京、大阪、福岡などの県外支部)

このインターンシップは一般に企業 HP等で募集するインターンシップとは別に大分大学経済学部学生用として行う1日インターンシップとし、県外支部がこれ用のインターンシップができる企業を選んで学生に情報提供(企業名、日程等)し、希望者を募集して取り組むもの。企業選定及びインターンシップ実施に係る費用は各支部からの請求申請に基づき支出、参加学生には請求申請に基づき旅費(公共交通利用分)等の一部を補助として支出する。インターンシップ前にZOOMを使って支部及び企業と参加学生との事前打合せを行う。

なお、このインターンシップ事業に係る経費については年度の上限額を設けてその範囲での支出をする等、別途実行委員会で実施要領を作成の上、実施する。

- ② 学生と先輩(若い会員)との交流会の開催 コロナ禍以前に大分支部で開催していた学生と先輩との交流会を県外支部 でも行うもの。大分ではリアル(対面)開催とし、県外支部についてはリモ ート開催とする。開催に係る会場費や運営経費の費用の一部を支援する。
- ③ その他学生の就職支援に四極会として関わることができるものを大学と協議して実施する。

(2) 学生の起業活動への支援

起業を企画する学生は大学教員からの推薦をもらった上で、審査会(実行委員会メンバーを中心に構成)でプレゼンを行い、いくつかの審査項目をクリアーした企画に対して、一定額(10万円程度)を援助する。

(3) 学生の社会貢献活動への支援

多く学生が参加できる社会貢献活動やボランティア活動の企画書を提出して もらって、審査会(実行委員会メンバーを中心に構成)で審査の上、一定額 を援助する。

2 支部の活性化や会員のために活用するもの

(1) HPの刷新

双方向参加型の「会員の広場 (仮称)」を作って、支部単位で入力権限を与えて自由に記載してもらうようにする。

なお、どの支部でも参加して記載してもらえる「仕掛けと仕組み」を実行委 員会で検討する。

(2) 会員のアドレス管理

入学時に学生のメールアドレスを取得して本部で管理する。また、支部単位 で会員のメールアドレスを取得して、支部及び本部で管理する。

(3) 活動状況の周知や報告

目に見える形で分かりやすいように工夫したチラシ等を作成して四極会の活動や取組内容を会員(学生を含めて)に周知する。

(4) 支部活動の充実

総会の実施にあたっては、四極会内の支部の枠を超えた取組(短時間の講演 や他支部の取組紹介等の相互乗り入れ)や学部を超えた他の学部同窓会との 交流等(総会やイベントの合同開催)を実施する。

(5) 全国支部組織の連絡先の周知

学生が卒業する際に渡す資料の中に全国の支部の所在地と連絡先を記した資料を配布し、勤務地における四極会の存在を認識させるようにする。

- 3 大学のために活用するもの
- (1) 寄付講義の充実

現行の寄付講義を継続するが、講師については、可能な限り各支部から若手 会員や各業界で頑張っている現役の会員を選定して推薦する。

【現行の基金の取扱】

現行の基金(運営資金基金、母校充実基金)の取扱については、次の通りとする。

- ① 現行の母校充実基金については、その目的が母校充実のために利用することと されており、新たに創設する基金の目的に合致することから、現行の母校充実 基金は新たに創設する基金に組み込むこととする。
- ② 現行の運営資金基金については、その目的が四極会運営のための資金を出すこととされており、広義では四極会の組織の活性化という目的とも合致するが、四極会一般会計の歳入の現況を鑑みて、当分の間は、この運営資金を一般会計歳入の不足分を補う資金に充てることを目的として、引き続き現行のままで運用する。
- ③ なお、運営資金基金については、組織活性化の取組の結果として将来的に一般会計歳入の補填が必要で無くなったと判断できる時は、改めて基金検討委員会等において、その時点での運営資金基金の残額を新たに創設する基金に組み入れるかどうかを検討する。

【新規創設の基金の名称と金額】

- 1 新規創設の基金の名称 新規創設の基金の名称を「四極会活性化基金(仮称)」とする。
- 2 四極会活性化基金(仮称)の金額 上記の現行基金の取扱により、四極会活性化基金(仮称)の金額は概ね次の 通りとする。
 - ① 母校充実基金の残額・・・・27,121、202円(令和4年度末)
 - ② 100周年記念募金から・・37,198、542円(令和4年度末)
 - ③ 四極会活性化基金····64,319,744円(①+②)